福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	学校芸術祭事業							事業コード	100102620102		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413		
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課					所属長	松井 美幸			
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	191	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 音楽や美術をはじめとする芸術体験は児童生徒が他者と感性を共有し、自己を自由に表現する場である。学校における芸術文化活動の意義をより一層高め、児童生徒が日頃の学びの成果を発表し合い、互いを高め合う場として芸術祭事業の実施が必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 児童生徒が日頃の学習の成果を披露する機会や他者の作品発表を鑑賞する機会が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市内小中学校児童生徒が芸術作品の作成、練習した音楽の合唱や合奏に取組んだ成果を発表する機会を創出する。日ごろの芸術活動や学習の成果を発表し、鑑賞することで交流と研鑽をさらに深め、豊かな感性や人間性を育む学校芸術祭事業を実施する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・第60回福知山市立学校（園）美術展を開催 ・小学6年生を対象に、第54回福知山市音楽祭を開催し、日頃の音楽学習の成果を発表したり聞いたりする中で交流を深める。

対象者	市立小中学校園児童生徒教職員及び保護者	対象者数	13,000	単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山市学校教育振興会と共催、（有）チームワーク、日本交通（株）					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	51	美術展受賞メダル			
需用費	312	美術展　消耗品、賞状印刷、音楽祭プログラム印刷			
役務費	3	美術展　白布クリーニング			
委託料	894	音楽祭　バス借上げ業務、スクールバス特別運行業務			
使用料及び賃借料	380	美術展・音楽祭　厚生会館使用料、看板借上げ			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,841	1,841	1,708	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,841	1,841	1,708	
予算財源内訳	① 一般財源	1,841	1,841	1,708	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	1,841	1,841		
	③ 執行額	1,594	1,640		
	④ 執行率	86.6%	89.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.41 / 0.30	0.26 / 0.30	/	/
	② 概算人件費	4,120	2,920		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,714	4,560		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	3,897	3,980	4,219	4,228		
	福知山市立学校（園）美術展来場者数	目標値		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
		達成度	%	97%	100%	105%	106%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	1		
	学校園美術展の開催	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	学校園美術展に向けた作品作成								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	683	688	636	605		
	音楽祭参加者数	目標値		800	800	800	800	800	
		達成度	%	85%	86%	80%	76%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	1		
	福知山市音楽祭の開催	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	学校音楽祭に向けた合唱・演奏練習								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 児童生徒の作品を一堂に展示することは、児童生徒の日頃の学習成果等を発信する貴重な場となっている。また、児童生徒が他校の児童生徒の作品展示を鑑賞することは自己研鑽につながり、豊かな感性を育む契機となる教育効果の高い事業である。（定性的評価） 【現状の課題】 今後は、厚生会館での開催が難しいことから別会場での開催を検討する必要がある。
現状の課題に対する改善策	福知山市学校教育振興会と共に代替場所を検討し確保する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	教職員資質向上事業					事業コード	100102620110			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	3 豊かな人間性を育む教育の実践				施策コード	413			
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課				所属長	松井 美幸			
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	192 頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	府教職員研修計画 学校教育の重点（府・市）	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	教育基本法学校教育法地方公務員法福知山市教育研究グループ補助金交付要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 教員の資質向上は、学校全体の教育力を底上げし、子どもたち一人ひとりに応じた質の高い教育を実現する上で大切なものと位置づけられる。学校教育を取り巻く環境は著しく変化しており、教員に求められる資質、能力も多様になってきており、教員の資質向上を目的とした事業の必要性は高い。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 教員は、多様な資質や能力が求められており、より良い教育を実践するために先進地視察や研修などをとおして学ぶ必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 児童生徒の学力向上や豊かな人間性を育む教育を実践するため、教職員の研修機会や研究に要する費用負担を行うことで、教職員の資質向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・教員の自主研究グループに対して補助金を交付し、教育課題に関する研究を支援する。 ・教職員の資質向上のため、人権教育研修等を企画する。

対象者	市立小中学校児童生徒及び教職員	対象者数	6,299	単位あたりコスト	0.8	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス（株）、LD研究会、算数・数学グループ研究会、人権教育研究会、人材育成グループ、スクールワイドPBS実践推進チーム					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	111	けやき賞受賞楯、講師謝礼	負担金補助及び交付金	290	教育研究グループ補助金
旅費	176	研修旅費、視察旅費			
需用費	130	けやき賞賞状印刷、研究大会資料、書籍、燃料費			
役務費	8	視察研修ガイド料			
委託料	20	運転代行業務			
使用料及び賃借料	34	視察研修入館料、高速道路通行料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,195	935	1,926	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	1,195	935	1,926	
予算財源内訳	① 一般財源	1,195	935	930	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	200	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	796	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	1,195	935		
	③ 執行額	856	769		
	④ 執行率	71.6%	82.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.46 / 0.05	0.51 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,820	4,080		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,676	4,849		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価 本事業の実施によって教員の資質向上が図れた。	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	5	4	4	5		
	補助金交付団体数	当初見込		5	5	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	教員による自主研究グループへ補助金交付								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 ・福知山市立学校校長会の指導のもとに公教育を積極的に推進する人材の育成を目的として設けられる研究グループを、支援することで教職員の資質向上が図られた。（LD研究会、人材育成グループ、人権教育研究会、算数・数学グループ研究会、スクールワイドPBS実践推進チーム） 【現状の課題】 教職員は、一人一人を大切にした教育を推進するために、人権教育推進の担い手としての自覚を高め、高い人権意識を持ち、人権教育に関する実践力・指導力を向上させる必要がある。
現状の課題に対する改善策	研修は、内容の精選を行いつつ、オンラインやオンデマンド等の様々な研修方法を工夫し、研修機会や伝達研修の場を適切に設定する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	学校運営事業						事業コード	100102620111		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実		
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践					施策コード	413		
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課					所属長	松井 美幸		
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	192・193 頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）					
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 学校が展開する教育活動の実施を支援することで、児童生徒の豊かな学びの機会を保障する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 学校の業務量から学校だけですべての事務的、調整的役割を担うことは困難であり教育委員会の介入は必要であると考えるが、社会見学等の入場料支出や社会科副読本の作成については、学校と業者の間に教育委員会が入ることにより事務が煩雑になっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 学校が展開する教育活動の実施を支援することで、児童生徒の豊かな学びの機会を保障する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ①【小中学校社会科見学等教職員入場料・拝観料】修学旅行や社会見学における引率教職員の入場料及び拝観料を負担する。 ②【社会科副読本】教科書採択毎に定期的に社会科副読本「のびゆく福知山市（第3・第4学年用）」の改訂を行う。 ③入学通知・学齢通知を行うとともに新小1年生の保護者へ入学に向けての準備パンフレットを作成し啓発を行う。 ④中丹地区教科用図書採択協議会負担金を支払う。（中学校教科用図書採択実施）【教科書採択年に負担金支払いあり】 ⑤教職員の働き方改革のスーパーバイザーを委嘱し、働き方改革の推進を図る。 【理科教育推進事業】は令和8年度より、響プランF心の充実事業に統合。

対象者	教職員及び児童（新小中1年生・小学3・4年生）	対象者数	3,064	単位あたりコスト	2.4	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	（有）チームワーク					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	200	教職員の働き方改革スーパーバイザー謝礼			
需用費	1,835	社会科副読本「のびゆく福知山」購入、火災被災児童学用品購入			
委託料	399	スクールバス運行業務			
使用料及び賃借料	361	児童科学館・植物園入館料、社会科見学引率教職員入拝観料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,632	2,727	1,744	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,632	2,727	1,744	
予算財源内訳	① 一般財源	1,532	2,627	1,644	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	100	100	100	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	75		
	② 配当予算	1,632	2,802		
	③ 執行額	1,266	2,795		
	④ 執行率	77.6%	99.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.54 / 0.15	0.56 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	4,740	4,480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		6,006	7,275		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	子どもの教育のための総合交付金	教育費府補助金	100	27	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	94.4	95.6	96.3	96.6		
	【理科教育推進事業】※R8年度より響プランF心の充実事業に統合 児童科学館・植物園見学の参加率	目標値		99	99	99	99	―	
		達成度	%	95%	97%	97%	98%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	100	100	100	100		
	【理科教育推進事業】※R8年度より響プランF心の充実事業に統合 児童科学館・植物園見学の実施率	当初見込		100	100	100	100	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	【理科教育推進事業】※R8年度より響プランF心の充実事業に統合 小学4年生を対象に、市の施設である児童科学館や植物園を訪れ、理科学習の機会								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―						
	定性的評価	目標値						―	
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	校	―	―	―	20		
	入場料・拝観料を負担した学校数	当初見込		―	―	―	23	23	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	教職員等を対象に、修学旅行や社会見学における入場料及び拝観料を負担する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 社会科副読本の活用により、より豊かな地域学習を実施できている。 教職員の入場料・拝観料を負担することにより、校外学習の計画的、継続的な実施につながっている。 【課題】 学校運営を安定させ、豊かな学びの機会を確保していくため、学校と連携しながら副読本の作成等の支援を継続するとともに、働き方改革を更に推進し、教員の負担軽減や業務整理により、教育の質や学習環境の向上につなげていく必要がある。
現状の課題に対する改善策	働き方改革スーパーバイザーによる助言等を活かしながら、更なる業務改善につながる取組を検討していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	教育研究事業							事業コード	100102620112	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実		
	施策名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413	
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課					所属長	松井 美幸		
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	193 頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 豊かな人間性を育む教育を実践するためには、研修や研究活動を行い、教員の意欲・指導力・授業力の向上及び教育活動の充実を図ることが必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 近年、多くの新規採用教職員を採用しているため、経験の浅い教職員の割合が増加傾向にあり、学力定着や学級経営等のスキルを高めていく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 教員の意欲・指導力・授業力の向上及び教育活動の充実を図ることにより、豊かな人間性を育む教育を実践する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ①全教職員を対象として学校教育振興会　全員研修会を実施する。 ②教職員の自主的な教育研究会活動に要する費用の一部を負担する。 ③京都府小学校教育研究会、京都府中学校教育研究会、京都府人権教育研究協議会、全国学校図書館教育研究協議会の負担金及び会費を負担する。

対象者	教職員（幼稚園、こども園含む）	対象者数	627	単位あたりコスト	7.5
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ 負担金支出 ）				
委託先・実施主体等	学校教育振興会、各教育研究会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	120	学校教育振興会全員研修会講師謝礼、 学校教育振興会研究部研修会講師謝礼			
旅費	11	学校教育振興会研究部研修会講師旅費			
需用費	81	学校教育振興会全員研修会及び各部物品購入			
使用料及び賃借料	79	学校教育振興会全員研修会及び各部研修会会場使用料			
負担金補助及び交付金	312	研究協議会及び研究会負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	912	696	569	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		912	696	569	
予算財源内訳	① 一般財源	912	696	569	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 42	△ 75		
	② 配当予算	870	621		
	③ 執行額	474	603		
	④ 執行率	54.5%	97.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.44 / 0.15	0.51 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,940	4,080		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,414	4,683		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	75.4	77.2	81.1	82.5		
	学校教育振興会　全員研修会　参加率	目標値		85	85	85	85	85	
		達成度	%	89%	91%	95%	97%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1	1		
	学校教育振興会　全員研修会　実施回数	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	幼稚園・こども園・小中学校の教職員が一堂に会する研修機会を確保することで、希望する講師による講演や生徒指導・特別支援・教育相談等各分野で実践している好事例を発表する機会を設け、教職員のスキルアップを図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】学校教育振興会や京都府小学校教育研究会等は全教職員が加入している組織であり、様々な課題や教科毎に研究を行い、その取組や成果を共有しており、福知山市の教職員全体の資質向上に寄与している。 また、学校単位ではない横断的な組織であるため本市のみならず府下や全国の動向を知る機会となっている。 【現状の課題】 他の用務などで全員研修会へ参加できない教職員がいる。
現状の課題に対する改善策	参加できない職員にも研修資料をデータ共有するなど、研修内容を共有するための工夫を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	響プランF心の充実事業							事業コード	100102620212	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実		
	施 策 名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413	
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課					所属長	松井 美幸		
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	194 頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	「響」プランF（学校教育内容充実促進プラン）			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市修学旅行費補助金交付要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 多様な体験を通じて児童生徒は、他者との関わりや未知との出会いの中で自己を見つめ、感じ、考え、行動する力を育んでいく。こうした経験は、目標に向かって努力する力、人とうまく関わる力、感情をコントロールする力といった非認知能力の基盤を形成し心の健やかな成長の要素となる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 近年、社会構造や家庭環境、地域とのかかわり方が大きく変化する中で、子どもたちが学校内外で多様な人々や価値観と出会い、心を豊かにする体験を得る機会が減少している。特にデジタル技術が社会のあらゆる面に浸透している現代において、メディア等をとおして間接的な体験の環境は整っているが、直接的（リアル）に体験する機会が減少している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 「響」プランF（福知山市立学校教育内容充実プラン）に基づき、充実した体験活動を支援することにより、子どもたちの豊かな心とあらゆる可能性を伸ばす教育を進める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・「本物」の芸術・文化体験・・・小学4年生対象（博物館・美術館見学・体験活動）、中学1年生対象（劇団四季の観劇） ・2025大阪・関西万博体験・・・小学4・5年生・中学校全校生徒対象 ・各校で企画する体験に要するスクールバス運行・・・施設見学や大学・高校見学等 ・各校における心の充実体験活動（講座等） ・修学旅行費補助

対象者	市立小中学校児童生徒	対象者数	5,762	単位あたりコスト	31.7	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	（株）日本旅行、（有）チームワーク、修学旅行参加児童生徒の保護者					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	712	講師謝礼			
旅費	73	視察旅費			
役務費	127	郵送料			
委託料	36,619	スクールバス特別運行業務、2025大阪・関西万博体験業務等			
負担金補助及び交付金	135,619	修学旅行費補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	22,846	116,412	32,246	0
	② 補正予算	0	66,631	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	22,846	183,043	32,246	
予算財源内訳	① 一般財源	11,423	173,181	13,670	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	11,423	9,862	10,474	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	8,102	
決算情報	① 流充用額	0	△ 9,407		
	② 配当予算	22,846	173,636		
	③ 執行額	19,732	173,150		
	④ 執行率	86.4%	99.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.97 / 0.00	1.07 / 0.40	/	/
	② 概算人件費	7,760	9,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		27,492	182,830		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	響プランF心の充実事業（きょうと地域連携交付金）	教育費府補助金	7,883	27	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	86.7	86.7	83.2	82.2		
	小6全国学力状況調査回答率（自分のよいところがあると思う）	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	87%	87%	83%	82%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	20	29	27	22		
	心の充実体験活動の実施回数（小学校）	当初見込		14	14	14	14	14	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	心の充実体験活動の実施（体験・講演・見学）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	67.8	61.5	62.7	65.3		
	中3全国学力状況調査回答率（将来の夢や目標を持っている）	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	68%	62%	63%	65%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	12	16	17	12		
	心の充実体験活動の実施回数（中学校）	当初見込		9	9	9	9	100	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	心の充実体験活動の実施（体験・講演・見学）								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 全事業において学校（児童生徒）からの満足度は高い。 小学4年生対象（博物館見学・体験活動）満足度99%　　中学1年生対象（劇団四季の観劇）　満足度96% 小学4・5年生、中学校全校生徒対象（大阪関西万博体験）満足度88% 【現状の課題】 各校で企画する体験が多くなってきており、スクールバス運行の希望に全て対応できない。（予算の範囲内での対応）
現状の課題に対する改善策	スクールバス運行に係る経費について人件費・燃料費高騰に単価が高くなっていることもあるが必要な予算を確保していく必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	いじめ根絶対策事業						事業コード	100102620402		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	3 豊かな人間性を育む教育の実践					施策コード	413		
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課				所属長	松井 美幸			
会計情報	款	10教育費	項	01教育総務費	目	02教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	196・197 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	いじめ防止対策推進法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和5年の文部科学省の調査によると早期発見と積極的な認知が進んだことにより、小中学校におけるいじめの認知件数は過去最多で、いじめの認知件数は増加している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ いじめは、児童生徒の心と命を脅かす重大な人権問題であり、「いじめ見逃し0（ゼロ）」と「解消率100%」を目指すことが大切である。これを実現するため、いじめを見逃さず、解消していくための人材育成等が必要となる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） いじめへの組織的で迅速な対応と継続した見守りができるように、児童生徒や保護者をはじめ、社会全体で自他の命の大切さを見つめなおす機会を設定することで「いじめ見逃し0（ゼロ）」につながる取組を充実させ、いじめ等の人権侵害の根絶を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・保護者、教職員等を対象にいじめ根絶月間の11月にいじめ防止講演会を開催した。 ・ネットトラブルの防止を目的とした講座を市内の11校で実施した。 ・いじめ防止対策委員会を年2回開催した。 ・子どもの権利を理解するための講座を小学校2校4クラスで実施した。

対象者	市立小中学校児童生徒教職員及び保護者	対象者数	13,000	単位あたりコスト	0.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	ふくちやまCAP					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
報酬	150	委員報酬			
報償費	390	講師謝礼			
旅費	98	講師招へい旅費、委員実費弁償			
需用費	22	消耗品（色上質紙）			
委託料	186	子どもが自分の心と体を守る暴力防止のための予防教育業務			
使用料及び賃借料	30	吊看板・懸垂幕借上げ			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,129	1,136	1,302	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	1,129	1,136	1,302	
予算財源内訳	① 一般財源	323	494	464	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	806	642	838	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	30		
	② 配当予算	1,129	1,166		
	③ 執行額	1,010	876		
	④ 執行率	89.5%	75.1%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.36 / 0.10	0.36 / 0.10	/	/
	② 概算人件費	3,160	3,160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		4,170	4,036		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	自殺対策事業（いじめ根絶対策事業）	教育費府補助金	460		26

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	95.9	97.8	96.2	96.3		
	認知したいじめの解消した割合 京都府のいじめ調査（1回目）の認知件数に対する追跡調査による解消率とする。	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度	%	96%	98%	96%	96%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1,827	1,610	1,691	1,659		
	いじめの認知件数	当初見込		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	いじめ防止講演会、ネットトラブルストップ講座、いじめ防止対策委員会、CAPプログラム								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	【自己評価】 ・いじめ防止講演会『命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～』は、市民（保護者）、学校関係者を対象として実施しており、100%の方が講演会を良かったと回答していることから、多くの参加者の学びにつながった。 ・ネットトラブルストップ講座を11校で実施し、各校からの評価も高い。講演は、児童生徒に人気のあるアプリの説明や誤った利用をすることの危険性、実際に学校現場であったトラブルを伝えている。 【現状の課題】 ネットストップトラブル講座が募集上限の12校を超えて希望があり、学校の希望に応えられていない。
現状の課題に対する改善策	ネットストップトラブル講座の予算を拡充し、各校で1回の講座が実施できるようにする。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	青少年健全育成事業							事業コード	100501610204		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施 策 名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413		
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課					所属長	西村 憲二			
会計情報	款	10教育費	項	05社会教育費	目	01社会教育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	205・206	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市青少年問題協議会条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 青少年健全育成の重要性について共通理解を求め、望ましい環境を作るために関係機関が連携して社会環境の浄化と健全育成活動の推進を図る。 社会の現状と今日的課題を的確にとらえながら、福知山市条例に基づき、少年補導委員連絡協議会の協力のもとに、各関係機関との連携を図りながら青少年の非行防止活動と健全育成に努める。52年にわたり一貫して「愛の一声」運動による青少年の健全育成と非行防止活動を継続している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民の力で次代を担う青少年の健全育成は自治体の大きな課題であり、社会の現状と今日的課題を的確にとらえながら、家庭・地域の教育力と青少年を取り巻く環境を向上させること。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 家庭と地域・学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できる人材を育成する。 次代を担う青少年が、より確かな人格形成と人間としての温かさ、思いやりのある豊かな心、創造性を培うことができる地域づくりを推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇青少年問題協議会の運営（年1回）、青少年健全育成大会の開催（年1回）、「青少年を非行から守り健全に育てる運動」等の啓発活動（年1回） 〇“社会を明るくする運動”と連携した健全育成活動の推進、啓発用懸垂幕の掲載等 〇街頭補導活動（官公庁の閉庁日を除く毎日） 補導委員77名を旧市内、旧三町の活動エリアに適切に分けて、原則1か月1人2回、1回に5～6人の委員を配置して活動している。 〇特別補導活動：列車補導活動（1回/年）、社会環境浄化活動（1回/年） 〇広報啓発活動、相談活動、補導委員研修（令和7年度研修先：京都家庭裁判所）

対象者	市民、市内の青少年		対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社、福知山地区更生保護協会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報酬	144	青少年問題協議会委員報酬、少年補導センター運営委員報酬	使用料及び賃借料	8	高速道路通行料、駐車場料金
報償費	841	少年補導委員街頭補導謝礼	負担金補助及び交付金	103	更生保護協会活動補助金、京都府青少年育成協会年会費
旅費	7	京都府青空賞表彰式参加旅費			
需用費	185	表彰用物品、街頭啓発用ポケットテッシュ、少年補導センター活動冊子、福祉バス燃料費　他			
役務費	114	青少年健全育成大会看板設置、賞状筆耕料、郵送料			
委託料	20	福祉バス運転代行業務(京都ユニオンサービス株式会社)			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	416	1,471	1,467	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		416	1,471	1,467	
予算財源内訳	① 一般財源	416	1,471	1,467	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	44	0		
	② 配当予算	460	1,471		
	③ 執行額	428	1,422		
	④ 執行率	93.0%	96.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.30 / 0.17	0.29 / 1.34	/	/
	② 概算人件費	2,876	6,072		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,304	7,494		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	1,410	782	981	821		
	不良行為少年の補導人数（延べ）（警察実績）	目標値		460	445	430	415	400	
		達成度	%	307%	176%	228%	198%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	91	113	129	101		
	健全育成大会参加者数	当初見込		150	150	150	150	150	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	青少年健全育成大会は行政や青少年健全育成関係者だけでなく、子育て中の親の学ぶ場として、現代の青少年問題解決に向けて効果的な内容で開催する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	22	15	27	6		
	少年補導活動　注意助言回数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	818	765	826	831		
	少年補導活動回数（少年補導委員）	当初見込		850	850	850	850	850	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	補導委員を旧市内、旧三町の活動エリアに適切に分けて、月1人2回、1回に5～6人の委員を配置して活動している。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 〇青少年健全育成大会には福知山警察署生活安全課長を講師に迎え「福知山市の青少年を取り巻く状況　闇バイトの実態や対策について」と題して講演いただいた。大会後、青少年問題協議会幹事・委員や青少年育成団体計22名で街頭啓発活動をJR福知山駅周辺にて実施した。 〇11月に（公）京都府青少年育成協会市町民会議訪問があり、青少年健全育成に関する情報や活動等について、現状報告及び意見交流を行った。 〇青少年を取り巻く問題は、日々変化しているため、常に現状を把握し、現状にあった課題・対応策を青少年問題協議会の意見を踏まえ啓発活動などを実施し、青少年の健全育成活動を促進していく。 〇行政や青少年健全育成関係者だけでなく、子育て中の親の学ぶ場として、青少年健全育成大会のプログラム構成（保護者を対象としたネットトラブル対策や薬物乱用の防止・根絶についての啓発）など、現代の青少年問題解決に向けた取組みが必要です。 〇今日少年を取り巻く社会情勢が深刻化する中で、少年非行等の諸問題を解決していくためには、警察による少年事件の検挙活動のみでなく、街頭巡回・相談活動等の方法により少年が非行に走る前の問題行動の段階で早期に対処する必要があり、少年補導センターはその拠点として大きな役割を担っている。 〇各ブロックの少年補導委員により地域の状況に応じた活動が展開されている。 〇補導委員から善行少年補導功労者表彰　栄誉銅賞が1名、京都府青空賞が2名、福知山警察署感謝状を2名がそれぞれ受賞している。
現状の課題に対する改善策	〇行政や青少年健全育成関係者だけでなく、子育て中の親の学ぶ場として、青少年健全育成大会のプログラム構成（保護者を対象としたネットトラブル対策や薬物乱用の防止・根絶についての啓発）など、現代の青少年問題解決に効果的な内容への見直しをしていく。 〇令和7年度より「少年補導センター運営事業」を統合 〇毎日、市内各所において街頭補導活動を実施する。 〇学校、関係機関との情報交換を行い、連携強化を図る。 〇補導委員の意識向上のため、警察官による少年非行現状の講話研修を行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	学校給食センタージビエ活用事業							事業コード	100603621559	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実		
	施 策 名	3 豊かな人間性を育む教育の実践						施策コード	413	
事業担当	所属	600600 教育委員会学校給食センター					所属長	谷垣 薫		
会計情報	款	10教育費	項	06保健体育費	目	03学校給食費	会計	01 一般会計	決算附属資料	218 頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	—			R8現在の状況	廃止/休止
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・令和7年度は、特別メニューとして提供することでジビエの活用を図った。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 個体の生育状況は気候に影響されるところがあり、特に夏場の狩猟は肉が細く、量の確保が難しい。狩猟期間が限られるため、食材の安定確保や仕入れ先の確保の問題がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 地産地消を推進し、学校給食を通して児童生徒に地元の産物や多様な食文化への理解を深めてもらう。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・ジビエ食材を使用した献立を学校給食に提供する。 ・通常使用している食材とジビエ食材との差額分を福知山市学校給食会に負担金として支出する。 ・食材の調達や献立については福知山市学校給食会が行う。

対象者	市立小中学校の児童生徒及び教職員	対象者数	6,405	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 負担金支出 ）				
委託先・実施主体等	福知山市学校給食会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	139	差額分負担金（ジビエ食材）			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,340	655	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			1,340	655	0	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,340	655	0	
決算情報	① 流充用額		0	△ 147		
	② 配当予算		1,340	508		
	③ 執行額		1,190	139		
	④ 執行率		88.8%	27.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.17 / 0.10	0.10 / 0.10	/	/
	② 概算人件費		1,640	1,080		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			2,830	1,219		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	学校給食センタージビエ活用事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	139	39	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	g	17.4	22.3	8	13.4		
	ジビエ食材を利用した給食の際の小中児童生徒一人あたりの副食残菜（食べ残し）量	目標値		15	15	15	15	―	
		達成度	%	116%	149%	53%	89%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	3	2		
	ジビエ献立の回数	当初見込		2	2	2	2	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	児童生徒に対するジビエ献立の提供								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	個体の生育状況は気候に影響されるところがあり、特に夏場の狩猟は肉が細く、量の確保が難しい。 狩猟期間が限られるため、食材の安定確保や仕入れ先の確保の問題がある。
現状の課題に対する改善策	子どもたちに、地元の産物や多様な食文化への理解を深めてもらえるよう、本事業以外の方策で引き続き取り組んでいく。